

參考資料

科学技術振興調整費の変遷

昭和35～55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	
特別研究促進調整費	科学技術振興調整費創設																				
総合研究	総合研究	→																			
																	目標達成型脳科学研究推進制度				
																	知的基盤整備推進制度				
																		ゲノムフロンティア開拓研究推進制度			
	調査・分析	→																			
																	研究情報整備・省際ネットワーク推進				
緊急研究	緊急研究	→																			
							緊急受託研究	→													
										地域流動研究	→										
																	社会・社会基盤研究	→			
助成研究					重点基礎研究	→															
								省際基礎研究	→												
																		開放的融合研究推進制度	→		
							個別重要国際共同研究	→													
																		国際共同研究総合推進制度	→		
										重点国際交流	→										
																		流動促進研究	→		
																		重点研究支援協力員制度	→		

平成 12 年度までの各プログラムの概要

各種研究制度一覧

	総合研究 (昭和56年度創設)	生活・社会基盤研究 (平成7年創設)
制度の概要	科学技術会議の総合調整機能の観点から重要な研究テーマについて、産学官の研究ポテンシャルを集結し、複数機関の有機的連携の下に、総合的な取り組みを推進。	生活者重視の新たな社会を構築するために、国研、大学、地方自治体、民間のそれぞれの研究ポテンシャルを活かしつつ、生活者の視点からの意見等を反映しつつ、生活の質の向上及び地域の発展に資する目的指向的な研究開発を総合的に推進する。
課題等の選定	<p>各省庁 経団連等</p> <p>事務局： 科学技術庁</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>(研究調査小委員会)</p> <p>科学技術会議</p> </div> <p>各省庁等の提案を踏まえ、科学技術会議において研究課題を選定</p>	<p>(生活者ニーズ対応研究) (地域先導研究)</p> <p>各省庁、地方自治体 地域自治体からの民間等からの提案 研究課題提案</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>事務所：科学技術庁</p> <p>(生活・社会基盤研究小委員会)</p> <p>科学技術会議</p> </div> <p>生活者ニーズ対応研究については、科学技術会議において研究テーマを選定の上、実施計画を策定</p>
研究(運営)の体制	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; margin-right: 20px;">研究推進委員会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>A省</p> <p> </p> <p>B省 - 大学</p> <p> </p> <p>C庁 - 大学</p> <p>＼</p> <p>民間等</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">外国研究機関</p>	<p>(生活者ニーズ対応研究) (地域先導研究)</p> <p>総合推進委員会 地域中核オガナイ -</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">↓</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>有機的連携</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">国 研</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大 学</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自 治 体</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">民 間</div> </div> </div> <p>生活者ニーズ対応研究については、必要に応じ、研究モニターの協力による第一期研究を実施。</p>
研究期間	5年間 (期：3年間、 期：2年間)	3年間(必要に応じ第三期)

	重点研究支援協力員制度 (平成7年度創設)	研究情報整備・省際ネットワーク推進 (平成6年度創設)
制度の概要	創造的な基礎研究を推進するため国立試験研究機関を対象として、重点研究領域に研究内容や研究者のニーズに合わせて研究協力員のチームを手当し、的確な研究支援を行う。	基礎研究をはじめとする研究活動の推進に大きく寄与するために、各省庁、大学等の研究機関を結ぶ省際研究情報ネットワークの整備・運用及び利用に資するための調査研究を推進するとともに、研究情報のデータベース化に関する調査研究を推進。
課題等の選定	各省庁 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 事務局：科学技術庁 科学技術会議 </div> 科学技術会議において課題を選定	各省庁 経団連等 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 事務局：科学技術庁 (政策委員会) 科学技術会議 </div> 科学技術会議において課題を選定
研究(運営)の体制	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 研究協力員 </div> ↓ 非常勤職員として研究支援チームを手当 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 国 研 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 重点研究 </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 研究推進委員会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> A省——B省 \ / C省 民間、大学等 </div>
研究期間	5年間	省際ネットワーク推進 3年間 研究情報整備 5年間

	<p>中核的研究拠点（COE） 育 成 （平成5年度創設）</p>	<p>省際基礎研究 （昭和63年度創設）</p>
<p>制度の概要</p>	<p>具体的構想をもってCOEを目指そうとする 国立試験研究機関等の研究計画に調整費を充 当</p>	<p>国研の優秀な研究リーダーのもとに、省庁の 枠を越え、国際的にも研究者を集結し、ヒト 中心の研究運営による基礎的・先導的研究を 推進</p>
<p>課題等の選定</p>	<p>各 省 庁 等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>事務局：科学技術庁</p> <p>（COE育成委員会）</p> <p>科学技術会議</p> </div> <p>科学技術会議において対象機関を選定</p>	<p>研究リーダー</p> <p>各省庁</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>事務局：科学技術庁</p> <p>（研究調査小委員会）</p> <p>科学技術会議</p> </div> <p>科学技術会議において研究リーダー及び研究 課題を選定</p>
<p>研究（運営） の体制</p>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <p>研究機関 （COE化対象領域）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>開放的・流動的 研究体制</p> </div> <p>研究評価委員会</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <p>研究者 国 研 大 学 民 間 等 外 国</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>技術者</p> </div> </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <p>A 省</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>a 研究所 研究リーダー</p> </div> <p>研究者</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>b 研究所 研究者</p> </div> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>外国人研究者</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>B 省 b 研究所 研究者</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>民間、大学等 研究者</p> </div> </div>
<p>研究期間</p>	<p>5 年間</p>	<p>3 年間</p>

	国 際 研 究 交 流	
	重点国際交流 (平成3年度創設)	個別重点国際共同研究 (昭和62年度創設)
制度の概要	効率的・効果的な国際交流の推進のため研究者等が直接意見交換を行うワークショップを実施	科学技術協力協定等において協力の推進が約束されている等、国際交流を深める上で重要性の高い国際共同研究を推進
課題等の選定	<p>各省庁等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 事務局：科学技術庁 科学技術会議 </div> <p>科学技術庁が調整したワークショップ開催の具体的分野から実施分野を科学技術会議が選定</p>	<p>各省庁等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 事務局：科学技術庁 科学技術会議 </div> <p>国際交流を進める上で重要性の高い課題を科学技術会議が選定</p>
研究(運営)の体制	<p>ワークショップ (招聘等)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <日本> A省 大学 民間等 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <相手国> B省 大学 民間等 </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <日本> A省 a 研究所 (共同研究) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <相手国> b 研究所 </div>
研究期間	単年度	単年度(継続あり)

	重点基礎研究 (昭和60年度創設)	調査・分析 (昭和56年度創設)
制度の概要	各国研において、将来の技術展開の柱となる ことが期待される革新的技術シーズの創出を 図るための基礎的研究を推進	科学技術政策立案の為の基盤調査(ソフト調 査)及び課題選定の為の調査(フィージビリ ティースタディ)を実施
課題等の選定	<p>各国研所長</p> <p>各省庁</p> <p>事務局：科学技術庁</p> <p>科学技術会議</p> <p>各所長の裁量による課題選定を受け、科学技 術庁が調整し、科学技術会議が選定</p>	<p>各省庁等</p> <p>事務局：科学技術庁</p> <p>(基礎調査小委員会)</p> <p>(研究調査省委員会)</p> <p>科学技術会議</p> <p>科学技術会議において課題を選定</p>
研究(運営) の体制	<p>A 省</p> <p>a 研究所</p> <p>研究者 研究者</p> <p>↑ 招聘</p> <p>外国人 研究者</p>	<p>調査推進委員会</p> <p>科学技術庁 委託</p> <p>民間等</p>
研究期間	単年度(継続あり)	単年度 (ソフトは調査継続あり)

	緊急研究等	
	緊急研究 (昭和56年度創設)	緊急受託研究 (昭和62年度創設)
制度の概要	年度途中に発生した自然災害、社会問題、国際対応等の突発自体に対応して機動的に研究・調査を実施	緊急実験の一環として各省国研における受託研究ニーズに対し、機動的に研究を実施
課題等の選定	<p>各省庁等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>事務局：科学技術庁</p> <p>科学技術会議</p> </div> <p>緊急性及び重要性の認められるものについて、科学技術会議が課題選定</p>	<p>各省庁等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>事務局：科学技術庁</p> <p>科学技術会議</p> </div> <p>緊急性及び重要性の認められるものについて、科学技術会議が選定</p>
研究（運営）の体制	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">研究推進委員会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>A省 - B省</p> <p>∖ /</p> <p>C省</p> <p> </p> <p>大学、民間等</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">A省 国研</div> <div style="margin: 0 10px;">↑ 受託</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">民間・ 地方公共団体</div> </div>
研究期間	単年度	単年度

	<p>人中心の基礎研究</p> <p>地域流動研究 (平成2年度創設)</p>
制度の概要	<p>地域の産学官の研究機関に、地域内外の優れた研究者を結集し、地域中核オーガナイザーの指導のもとで基礎的・先導的研究を推進</p>
課題等の選定	<p>各省庁 地方自治体</p> <p>地域中核オーガナイザー</p> <p>(研究調査小委員会)</p> <p style="text-align: center;">C S T</p> <p>C S Tが地域中核オーガナイザー及び研究課題を選定</p>
研究(運営)の体制	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>< 地域内 ></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">地域中核オーガナイザー</div> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">A 国 研</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">B 公立試</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">C 民 間</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">地域内外の研究者</div> </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>< 地域外 ></p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">D 国 研</div> </div> </div>
研究期間	3年間

	制度先導プログラム	
	目標達成型脳科学研究推進制度 (平成9年度創設)	知識基盤整備推進制度 (平成9年度創設)
制度の概要	「脳を知る」、「脳を守る」、「脳を創る」の3領域において、国研、大学、民間研究機関等の連携の下に、一定の達成目標を設定し、その実現を目指して研究を推進することにより我が国の脳科学研究の向上に資する。	産学官が連携して研究開発を進めることが効果的であり、かつその研究開発の成果より、多くの研究機関、研究者が最先端の研究開発活動を安定化、効果的に進める事が期待される知的基盤の整備に資する研究開発を行う。
課題等の選定	<p>各省庁 民間研究機関等 (戦略目標に即した提案)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>事務局：科学技術庁</p> <p>(脳科学委員会)</p> <p>科学技術会議政策委員会</p> </div> <p>各省庁等の提案を踏まえ、科学技術会議政策委員会において研究課題を選定</p>	<p>中核候補機関 (各省庁 民間研究機関等)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>事務局：科学技術庁</p> <p>(知的基盤整備小委員会)</p> <p>科学技術会議政策委員会</p> </div> <p>中核候補機関からの提案を踏まえ、科学技術会議政策委員会において研究課題を選定</p>
研究(運営)の体制	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto; text-align: center;">脳科学委員会(目標設定)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">研究計画</p> <p style="text-align: center;">目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">研究管理統括</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">中間目標</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">中間目標</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">連絡調整</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">A省国研</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">B省国研</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">C省国研</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">大 学</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">民 間</div> </div> </div> <p>研究管理統括は研究実施には参加せず、研究実施計画の調整、研究費の配分案の調整等の課題全体の進行管理を行う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto; text-align: center;">中核機関(研究オーガナイズ)</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px auto; width: 80%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">A省研究所</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">B省研究所</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">民 間</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">大 学</div> </div> <p>知的基盤整備とは、研究開発活動等の安定的、効率的な推進を図る上で不可欠な標準、生物遺伝資源等の研究用資材、先端基盤ツールの整備を対象とする。</p> <p>中核機関は、参加機関及び研究者の選定・調整、研究実施計画及び資金計画案等の調整・作成、研究成果のとりまとめ等を行い研究運営を統括する。</p>
研究期間	5年間 (研究開始後3年目に中間評価を実施)	5年間 (研究開始後3年目に中間評価を実施)

	制度先導プログラム	
	流動促進研究制度 (平成9年度創設)	ゲノムフロンティア開拓研究推進制度 (平成10年度創設)
制度の概要	任期付研究員に限られた任期中に特に密度の高い研究活動を効果的に行い成果を上げることが可能となるよう必要な経費を措置し、国研における研究者の流動的かつ独創的な研究活動の推進に資する。	科学技術会議が定める重点領域において、特定の生命現象に関し、中核機関のオーガナイズの下、産学官、関係省庁の研究機関を有機的に連携させ、当該生命現象の分子レベルの理解とそれに基づく応用のための研究を推進する。
課題等の選定	<p>国立試験研究機関 (各省庁)</p> <p>事務局：科学技術庁 (研究調査小委員会)</p> <p>科学技術会議政策委員会</p> <p>科学技術会議政策委員会において研究課題を選定</p>	<p>中核候補機関 (各省庁 民間研究機関等) (重点領域に則した提案)</p> <p>事務局：科学技術庁 (ゲノム科学委員会)</p> <p>科学技術会議政策委員会</p> <p>各省庁等の提案を踏まえ、科学技術会議政策委員会において研究課題を選定</p>
研究(運営)の体制	<p>国立試験研究機関</p> <p>任期制を活用した研究開発</p> <p>任期付研究員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究者 ・研究支援者 <p>任期付研究員に対して、限られた任期中の研究を効果的に実施出来るための研究費を措置する。</p>	<p>中核機関 ← 重点領域を指定</p> <p>← 提案 →</p> <p>科学技術会議 ゲノム科学委員会</p> <p>X 大 A 民間研究所 Y 国立研究所 B 国立研究所 Z 国立研究所 C 大 学</p> <p>中核機関は、参加研究機関への助言、指導等を行う他、研究実施計画及び経費の分配案の調整等を行うことにより、研究の運営を管理する。</p>
研究期間	3年間 (特に必要があると認められる場合には5年間まで)	5年間 (研究開始後3年目に中間評価を実施)

	国際プログラム	国研活性化プログラム
	国際共同研究総合推進制度 (平成8年度創設)	開放融合研究推進制度 (平成10年度創設)
制度の概要	重点協力分野において、将来における国際共同研究の芽の育成から、様々なニーズに対応した国際共同研究の実施に至るまで一体的かつ総合的に推進することにより海外との科学技術協力を強化する。	複数の研究機関が分野、組織の壁を取り払い、研究統括責任者の統一的なマネジメントによる一体的な体制を構築し、そこに国内外の優秀な研究者が結集することにより、単独の研究機関では遂行が困難な学際的研究を推進する。
課題等の選定	<p>各省庁等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 事務局：科学技術庁 科学技術会議政策委員会 </div> <p>国際約束等の重点協力分野に基づき科学技術会議政策委員会において課題を選定</p>	<p>国立試験研究機関等 (各省庁等)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 事務局：科学技術庁 (研究調査小委員会) 科学技術会議政策委員会 </div> <p>科学技術会議政策委員会において研究課題を選定</p>
研究(運営)の体制	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">相手国 B国 b 研</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">日本 a 国 研</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">相手国 C国 c 研</div> </div> <p style="text-align: center;">参加 ↓ ↓ ↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto;"> 国際研究交流促進 国際ワークショップの開催等による国際共同研究の芽の育成 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto;"> 国際共同研究 多様なニーズに対応した様々な形態の国際共同研究の展開 </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 融合研究グループ 研究者 ↔ 研究者 相互交流 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 国内外の優秀な研究者 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">A 研究所</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">B 研究所</div> </div> <p style="text-align: center;">↑</p> <p style="text-align: center;">統一的な研究構想 ・ マネジメント (研究統括責任者)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">融合研究評価委員</div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">融合研究推進委員</div> </div>
研究期間	国際研究交流促進 単年度 国際共同研究 1 ~ 5 年間	5 年間 (3年目に中間評価を実施)

平成12年度までのプログラムで実施された課題一覧

課 題 名	分 野	55年度 1980	56年度 1981	57年度 1982	58年度 1983	59年度 1984	60年度 1985	61年度 1986	62年度 1987
7. 海洋大循環の実態解明と総合観測システムに関する国際共同研究	環境								
8. 縁辺海における物質循環機構の解明に関する国際共同研究	環境								
9. 世界海洋観測システム構築に資する革新的プイシステムの基盤技術開発研究	環境								
10. 海嶺におけるエネルギー・物質フラックスの解明に関する国際共同研究	環境								
11. 海底ケーブルを用いた地震等多目的地球環境モニターネットワークシステムの開発に関する研究	環境								
12. 北太平洋亜寒帯循環と気候変動に関する国際共同研究	環境								
小 計			106	537	871	724	640	592	778
⑧ 地球科学技術									
1. リモートセンシング技術の利用実証に関する研究	社会基盤		110	111	104	81	80		
2. アセアン諸国とのリモートセンシング技術の高度化とその応用に関する共同研究	社会基盤							130	122
3. 太平洋における大気・海洋変動とその気候変動に関する国際共同研究	環境								283
4. 砂漠化機構の解明に関する国際共同研究	環境								
5. 北極域における気圏・水圏・生物圏の変動及びそれらの相互作用に関する国際共同研究	環境								
6. マイクロ波センサデータ利用等によるリモートセンシング高度化のための基盤技術開発	社会基盤								
7. バイカル湖の湖底泥を用いる長期環境変動の解析に関する国際共同研究	環境								
8. 成層圏の変動とその気候に及ぼす影響に関する国際共同研究	環境								
9. 全地球ダイナミクス：中心核にいたる地球システムの変動原理の解明に関する国際共同研究	環境								
10. GPS気象学：GPS水蒸気情報システムの構築と気象学・測地学・水文学への応用に関する研究	環境								
11. 炭素循環に関するグローバルマッピングとその高度化に関する国際共同研究	環境								
12. 雲仙火山：科学掘削による噴火機構とマグマ活動解明のための国際共同研究	環境								
13. 海底熱水系における生物・地質相互作用の解明に関する国際共同研究	環境								
14. 風送ダストの大気中への供給量評価と気候への影響に関する研究	環境								
小 計			110	111	104	81	80	130	405
(2) 人類共存のための科学技術									
① エネルギーの開発及び利用									
1. 風力-熱エネルギー利用技術に関する研究	エネルギー	49	59	80	139	154	138		
小 計		49	59	80	139	154	138		
② 食料等の持続的生産									
1. 熱帯・亜熱帯の微生物・植物の総合的な開発利用技術に関する研究	環境		113	129	95				

(単位：百万円)

63年度 1988	元年度 1989	2年度 1990	3年度 1991	4年度 1992	5年度 1993	6年度 1994	7年度 1995	8年度 1996	9年度 1997	10年度 1998	11年度 1999	12年度 2000	13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	17年度 2005	実施機関
																		科冲大厚農通 学民
																		科厚農学民
																		科厚農学民
																		北科農運地 科運建民 科通運建学民 科通運建自民 北科農通運郵 建学民 農通建自学民 科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
159	150																	科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
←45→																		科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
267	213	212	200															科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
121	139	103	91	91														科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
		125	142	130	131	112												科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
			171	191	155	153	114											科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
						200	245	178	189	148								科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
							106											科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
								200	210	147	191	140						科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
											292	323	279	341	293			科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
																		科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
																		科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
																		科農通運建民 科農通運建民 科通運郵建民 北科農通運建 民 北科農通建民 科通運郵建民 科通運郵建学 民 科通学民 科農通運建学 民 科国学民 科農通運建学 民 (国)科經国 学民 科通運建学民 科經国学民 科通建学民
592	502	440	604	413	286	466	466	378	399	295	711	972	763	851	779	210		科農通運建学 民 環大厚農通学 民
					250	270	270											科農通運建学 民 環大厚農通学 民
							200											科農通運建学 民 環大厚農通学 民

(単位：百万円)

63年度 1988	元年度 1989	2年度 1990	3年度 1991	4年度 1992	5年度 1993	6年度 1994	7年度 1995	8年度 1996	9年度 1997	10年度 1998	11年度 1999	12年度 2000	13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	17年度 2005	実施機関
					250	270	470											
6,012	6,062	6,144	6,074	6,165	6,712	6,846	7,163	6,768	7,570	7,899	8,592	9,754	8,708	7,172	5,415	3,442		

(3年間を限度)を実施】

(単位：百万円)

10年度 1998	11年度 1999	12年度 2000	13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	実施機関
292	293	251					環厚農通建地 学民
←		→					科通地学民
260	251	232	201				科農運建自学 民
234	←		→				(内)厚厚經 警環厚勞学民 厚通郵学民
238	→						科厚通地学民
309	301	216	252	220			(厚)農学民 環厚農学 環厚農地学民
295	229	←		→			警厚通運勞建
221	178	→					科環厚農通勞
228	258	263					經学民
←	218	241	221	250	270	211	通建学民 厚建学民
←		→	←		→		学民 学民
331	330	209					(厚)環学民 環厚学 (厚)学民 厚学民 (厚)学民
	224	231	201	251	265	233	厚学民 (厚)農学
	←	195	256	270			
	←	199	216	161			
	←	130	210	270	200	202	183
		←	206	220	181	210	193

(単位：百万円)

10年度 1998	11年度 1999	12年度 2000	13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	実施機関
		← 274	298	249 →			厚農地学 総科学民
2,627	2,831	2,785	2,002	1,371	888	609	
							科環学民
							科通地学民
							農通地学民
							環通地学民
							科通地民
							環農学民
							農建地学民
							環農地学民
							通学民
							環農通地学民
							科通地学
							環農地学
							農通郵地学民
							厚通地学民
							厚農地学民
							科通地学民
							農通地学民
							農建地学民
							科通学民
							科厚学民
							農通地学民
							科通学民
							科通地学民
86 →							科通地学民
91 →							農通地学民
87 →							科通地学民
95 →	80 →						科農地学民

課 題 名	分 野	2年度 1990	3年度 1991	4年度 1992	5年度 1993	6年度 1994	7年度 1995	8年度 1996	9年度 1997
28. 地域糖質資源の高機能化と環境調和型利用システムの基盤研究（鹿児島県）	環境								93
29. 相模湖・津久井湖の藻類による汚濁機構解明とその浄化・資源化技術に関する研究（神奈川県）	環境								93
30. 醸造微生物機能の高度利用に関する研究（広島県）	ライフサイエンス								
31. こめぬかを原料とする環境に適した有機工業化学に関する基礎研究（和歌山県）	ライフサイエンス								
32. 室戸海洋深層水の特性把握及び機能解明（高知県）	ライフサイエンス								
33. バイオマス有効利用のための高度な微生物制御技術に関する基礎研究（熊本県）	環境								
34. 海洋生物由来DNAの新機能材料化に関する研究（北海道）	材料								
35. 地域産業の発展に寄与する電磁波技術に関する研究（石川県）	ライフサイエンス								
36. 新規微生物酸素による希少糖類生産システムの開発とこれを用いたもみがら等の地域未利用資源の有効活用に関する基盤研究（香川県）	ライフサイエンス								
37. 伝統医学活用による生活習慣病克服と健康増進（富山県）	ライフサイエンス								
38. カビの酵素高生産性能を利用した環境調和型工業プロセス技術の基盤研究（愛知県）	ライフサイエンス								
39. 積雪寒冷地における自然エネルギー利用技術の開発研究（青森県）	エネルギー								
40. 微生物由来細胞認識・破壊タンパク質の作用機構解明と応用に関する研究（福岡県）	ライフサイエンス								
小 計		195	394	665	829	990	994	900	810
中 計		195	394	665	829	990	1,808	2,520	3,169

4. 知的基盤整備 【研究期間：5年間（研究開始3年目に中間評価を実施）】

課 題 名	分 野	9年度 1997	10年度 1998	11年度 1999	12年度 2000	13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004
1. ゲノム機能解析に資する遺伝子操作マウスの胚・配偶子バンク確立のための基盤的研究	ライフサイエンス	218	220	222	198	193			
2. 国際的先進材料の実用化を促進するための基盤構築に関する研究	材料	267	267	265	260	228			
3. 機能材料の熱物性計測技術と標準物質に関する研究	材料	352	350	341	318	285			
4. 物理標準の高度化に関する研究	材料	550	548	561	471	398			
5. 化学物質安全特性予測基盤の確立に関する研究	材料	220	220	218	201	166			
6. 3次元ファンクショナルデジタイザの研究開発	製造技術	174	177	189	200	187			
7. X線極限解析装置の研究	材料	331	330	336	320	299			
8. 3次元電子顕微鏡の研究	材料	229	239	243	249	234			
9. 空間情報科学の確立のための空間情報のデータベース化に関する研究開発	社会基盤	259	250	224	208	189			
10. 生物系研究資材のデータベース化及びネットワークシステム構築のための基盤的研究開発	ライフサイエンス	103	106	121	93	92			
11. 量子標準体系の高度化に関する研究	材料		215	204	209	230	211		
12. 組換えウイルス・コアバンクの創設とその高度利用のための基盤技術に関する研究	ライフサイエンス		152	158	171	154	133		
13. 創薬及び生物研究情報基盤としての生体内ペプチドの多角的データベース化に関する研究	ライフサイエンス			200	226	242	242	237	
14. 機能性分子による熱流体センシング技術の研究開発	材料			150	161	174	200	183	
15. 中性子光学素子の開発と応用	材料				350	433	450	499	466
小 計		2,702	3,074	3,432	3,636	3,504	1,236	919	466

(単位：百万円)

10年度 1998	11年度 1999	12年度 2000	13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	実施機関
91	83						大農地学民
88	91						文通地学民
93	88	88					大通地学民
88	91	97					厚通地学民
92	92	61					農通地学民
	100	90	70				(環)農公学民
	95	90	74				環農地学民
	80	81	74				科経学民
	100	89	71				通地学民
							総公学民
							郵地学民
							農経公学民
		70	71	70			農通地学民
		83	83	81			農公学民
							農地学民
							経公学民
		70	72	67			通地学民
		88	84	80			(国)科公学民
							科地学民
							経公学民
							通地学民
810	900	907	599	298			
3,437	3,731	3,692	2,601	1,668			

(単位：百万円)

実施機関
(厚)学民
科厚学民
(厚)科経学民
科厚通学民
科経学民
科通学民
(国)科経学民
科通建学民
(厚)経国学民
厚農通運労学
経学民
科通学民
経学民
科通学民
学民
科学民
(内)(国)国経
学民
警科通運建学
(厚)経環学民
科環厚農通学
総科経学民
科通郵学民
農学民
科厚農学民
(厚)経学民
厚通学民
科学民
科学民
学民
学民

(単位：百万円)

12年度 2000	13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	実施機関
258	210				科厚通学民 総経学民 通郵学民 (厚)学民 科厚通学民 学民 学民 学民
220	202	181			
174	174	250	214		
179	194	240	276	250	
831	780	671	490	250	
218	175				科厚農学民 (厚)経公学民 厚通地学 (厚)公学民 厚学民 学民 科学民 (厚)学民 厚学民 (厚)学民 厚学民 (厚)学民 厚学民
180	149				
189	189	179			
171	178	197	168		
102	113	130	125	110	
180	193	241	230	200	
1,040	997	747	523	310	
240	240	222			経学民 通学民 学民 学民
173	173	191	163		
413	413	413	163		
2,284	2,191	1,832	1,176	559	

(単位：百万円)

13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	実施機関
				科厚農通学民
				科厚農郵学民
267	213			学民
209	163			学民 学民
284	221			科学民
189	231	197		学民
245	266	227		(厚)学 厚学 学民 学民 学民
198	238	202		学民 学民
161	160	130		学民 農学民

課 題 名	分 野	5年度 1993	6年度 1994	7年度 1995	8年度 1996	9年度 1997	10年度 1998	11年度 1999	12年度 2000
10. 多型マイクロサテライトの収集とヒトゲノム多様性に関する研究	ライフサイエンス								← 243
11. 遺伝子発現及び機能情報解析のための次世代プロテオーム解析システムの開発	ライフサイエンス								← 212
小 計							952	1,550	2,010

7. 研究情報整備・省際ネットワーク推進（平成9年度より総合研究に移行）

課 題 名	分 野	6年度 1994	7年度 1995	8年度 1996	9年度 1997	10年度 1998	11年度 1999
1. 省際ネットワークの整備・運用に係る基盤技術の調査研究	情報	629	869	714	←.....→	←.....→	
2. 物質関連データ（生体影響、食品成分、表面分析）のデータベース化に関する研究	情報	246	246	248	←.....→	←.....→	
3. 地球観測データのデータベース化に関する研究	情報	115	115	116	←.....→	←.....→	
4. 省際ネットワークを利用した医療研究支援アプリケーションの調査研究	情報		215	183	←.....→	←.....→	
5. 広域高速ネットワークを利用した生活工学アプリケーションの調査研究	情報			180	←.....→	←.....→	←.....→
小 計		990	1,445	1,440			

(単位：百万円)

13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	実施機関
244	245	269	247	農学民 学民
212	212	241	194	
				(厚)学民 厚学民
2,008	1,950	1,266	441	

(単位：百万円)

12年度 2000	実施機関
	科警環厚農通運郵学民 科環大厚農通勞地学民 科運郵建民 科厚通郵勞学民
.....→	

V 経過措置分一国研活性化プログラム

1. 流動促進研究 【研究期間：任期内を限度に原則3年間まで（特に必要と認められる場合には5年間まで）】

(単位：百万円)

課 題 名	分 野	9年度 1997	10年度 1998	11年度 1999	12年度 2000	13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	実施 機関
① 招へい型										
1. 反応性流体における乱流現象の解明に関する研究	材料	14								科 科
2. 結晶粒界のナノ解析法の確立とその利用による粒界の組織、変形・破壊特性の解明の研究		14	14	14						
3. 脳神経系の機能発現の分子機構に関する研究	ライフサイエンス	13	12	14						科 環 通 通
4. 項書換系における数学的構造の研究	情報	15	12	14						
5. モバイルコンピューティングのためのネットワークモデル構築に関する研究	情報	13	7							通 通
6. 運動微小毛群による流体輸送機能の発現に関する研究		15	14	14						
7. 室内実験及び数値統計手法に基づく地震準備過程の解明		15	14	14						通 通
8. 液体超薄膜を用いた摩擦コントロールに関する研究	材料			16	15	14				
9. 分子認識能を有する構造規制界面の構築と分子レベル機能評価	材料			16	15	14				通 通 通 通
10. 西アフリカ気象変動予測の高度化による穀物生産のリスク軽減技術の開発	ライフサイエンス				14	15	16			
11. 低分子生理活性物質の分子機構の解明	ライフサイエンス				13	16	16			農 農 通 通
12. 低温での組み換え蛋白質発現システムの研究開発	ライフサイエンス				15	17	13			
小 計		98	75	100	72	77	45			
② 若手育成型										
1. 生体組織を再建するための培養容器の開発・医学応用に関する研究	ライフサイエンス	11	13	12	5	4				科 通 通
2. 原子電子レベルからの多結晶材料特性のシミュレーション	材料	11	14	13						
3. 生体高分子（蛋白質、核酸）の構築・機能の耐熱化機構の解明	ライフサイエンス	11	12	13						通 通
4. 多元系酸化物の原子層制御MBE成長とデバイス化技術の研究	材料	13	14	14	5					
5. 問題解決履歴から重要パターン知識の自動抽出		14	13	13						郵 科
6. 重粒子3次元照射法に関する実用研究		15	15	14						
7. 侵入帰化植物による植物多様性に対する遺伝子汚染のリスク評価のための基礎的研究	ライフサイエンス	12	13	13	3	3				農 農 通
8. 人間との柔軟な関わりを持つ機械システムの動的な自立制御の研究	ライフサイエンス	15	14	14						
9. 高感度光応答分子複合材料の設計と機能発現機構に関する研究	材料	15	14	13						通 通
10. 無機アモルファス系高感度光応答材料の創製とそのデバイス化に関する研究	材料	15	14	13						
11. 誘起構造を利用した高感度光応答材料の創製と評価に関する研究	材料	15	15	14						通 通
12. バーチャルリアリティ技術を用いた空間知覚能力の解明に関する研究	情報	14	14	14						
13. 多様生物機能を利用した海洋環境の修復と適正管理に関する研究	環境	14	15	14						通 科
14. 超伝導マグネットのコイル電流密度向上のための要素技術開発	材料		15	13	14					

(単位：百万円)

課 題 名	分 野	9年度 1997	10年度 1998	11年度 1999	12年度 2000	13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	実施 機関
15. 脳梗塞モデルにおける神経細胞バイアビリティーの画像化の研究	ライフサイエンス		14	13	14					科
16. 微生物及び高等植物を対象とした放射線及び環境負荷物質の光合成機能に与える影響に関する研究	環境		14	13	13					科
17. 多ホウ化物の物性の解明と新規な挿入化合物の創製の研究	材料		12	12	8	6	5			科
18. 政策形成・研究開発実施過程における産学官のインタラクションに関する研究	その他		12	13	13					科 科
19. 乱流制御に関する基礎的研究	エネルギー		14	14	14					通
20. 光マイクロマニピュレーション技術の研究	情報		14	13	14					通
21. エネルギー変換材料等に用いるマイクロ粒子の生成・形態制御に関する基礎的研究	エネルギー		13	14	14					通
22. 計算化学的手法を活用した精密機能材料の創製技術の開発	情報		14	13	13					通
23. 脳機能材料開発のためのミニ蛋白質の創製法に関する研究	ライフサイエンス		14	14	14					通
24. 酵素概念模倣による飽和炭化水素選択酸化触媒の研究	材料		13	14	13					通
25. 酸化物熱電変換セラミックスの材料設計に関する研究	材料		13	14	13					通
26. MeV重イオン励起表面反応の高度計測技術による高機能材料の開発に関する基礎的研究	材料		14	14	13					通
27. セラミックスの粒界の評価及び制御による超塑性の発現に関する研究	材料		14	14	14					通
28. 高齢者の筋出力調整系における神経-筋機能の可塑性に関する研究	ライフサイエンス		13	14	14					通
29. ゲノムDNA配列情報の構造生物学的解析	ライフサイエンス		14	14	12					通
30. 環境感覚を用いた人間の生理情報の蓄積とその応用に関する研究	ライフサイエンス		14	14	13					通
31. 燃焼によるダイオキシン類の生成・分解機構に関する研究	環境		13	14	13					通
32. 沿岸海洋生態系における外部負荷及び内部生産有機物の循環過程に関する研究	環境		13	14	14					通
33. 低温微生物の低温適応機能とその応用の研究	ライフサイエンス		14	14	14					通
34. 人工衛星群のカオス軌道制御の研究	情報		13	13	14					郵
35. 高温における転位の動的挙動解析法の確立とそれに基づく高温変形過程の解明に関する研究	材料			15	14	15				科
36. モデル生物ゲノム解析を利用した新規放射線感受性遺伝子の分離と機能解明に関する研究	ライフサイエンス			11	10					科 科
37. ダイオキシン類と多環芳香族炭化水素類の複合毒性の評価に関する研究	ライフサイエンス			14	12	11				環
38. 生体組織形成を模倣したミセルの自己組織化による規則配列制御ナノスケールセラミックスの創製	材料			14	14	15	5			経
39. LCA手法による地球温暖化対策設計ツール開発に関する研究	環境			11	13	11	5	3		通 経
40. 短時間微小重力下におけるプレート状高品質結晶熱電半導体材料の構造及び熱電特性に関する研究	エネルギー			15	14	15				通 経
41. 環境調和型メディアとしての超臨界二酸化炭素逆ミセル系の創出	環境			17	16					通
42. 閉鎖性湾域における外的環境変動が内湾環境に及ぼす影響と応答機構の解明に関する研究	環境			15	13	14				国

(単位：百万円)

課 題 名	分 野	9年度 1997	10年度 1998	11年度 1999	12年度 2000	13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	実施 機関
43. 地域社会特性等の分析による社会資本整備の評価に関する研究	社会基盤			14	14	12				建 国
44. 励起中性粒子線による表面脱離計測技術に関する研究	材料				14	16	15			建 国
45. 気相拡散浸透法を中心としたV-Ni系水素透過膜の製造技術確立に関する研究	製造技術				14	14	12			科 国
46. 生体中の放射性核種濃度とその分布に関する研究	ライフサイエンス				14	15	15			科 国
47. 胎盤の機能異常に着目した環境有害物質による胎子の発育阻害メカニズムの解明	ライフサイエンス				15	14	10			環 境
48. 微生物由来の揮発性有機化合物による室内空気汚染の解明と衛生居住環境の開発に関する研究	ライフサイエンス				13	12				環 境 (厚)
49. 冷害に伴ういもち病発生予測技術の高度化に関する研究	ライフサイエンス				14	15	15			厚 農
50. マイクロ分析システムの統合化技術に関する研究	材料				13	14	16			農 経
51. カーボンナノチューブの超微粒子触媒による合成制御と電子デバイスへの応用	材料				14	16	14			通 経
52. 運動・知覚神経と筋との双方向再接続技術に関する研究	ライフサイエンス				14	15	14			通 経
53. 生体硬組織の無機ネットワーク構造を模倣した骨組織誘導型人工骨の創製	材料				13	14	9	5	6	通 経
54. 暗号通信手段の安全性自動検証に関する研究	情報				11	18	18			通 経
55. 閉鎖性水域の水質改善を目的としたマイクロバブル生成機構の研究	環境				13	14	13			通 経
56. 環境調和型無機・有機ポリマーハイブリッドの開発に関する研究	材料				13	13	15			通 経
57. 順応条件が急変する時の視覚機能に関する研究	ライフサイエンス				10	10	5			通 国
58. 河口湿地の環境形成速度及び物質動態に関する基礎的研究	環境				15	14				運 建
小 計		176	465	583	611	323	186	8	6	
中 計		274	540	684	683	400	232	8	6	

2. 中核的研究拠点（COE）育成 【実施期間：10年間（研究開始後3年目及び6年目に中間評価）】

課題名	分野	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
		1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
1. 超常環境を利用した先端材料研究	材料	344	363	364	361	361	31	41
		←344	←362	←380	←363	←360	←32	←41
2. 生体内情報伝達・制御	ライフサイエンス	←344	←360	←358	←360	←359	←32	←41
3. 生命工学（生体情報分野）	ライフサイエンス		←365	←359	←361	←361	←359	←41
4. 植物ゲノム機能研究	ライフサイエンス		←350	←352	←363	←360	←359	←40
5. 先端的光通信・計測に関する研究	情報			←356	←356	←360	←359	←351
6. 極限場を利用した量子効果発現に関する研究（調整費充当領域：極微構造に起因する量子効果発現に関する研究）	材料			←360	←360	←360	←359	←361
7. 神経難病の分子機構の解明とその克服に向けた予防・治療法の開発に関する研究（調整費充当領域：遺伝性神経・筋変性疾患の分子機構の解明と予防・治療法の開発）	ライフサイエンス				←362	←360	←359	←380
8. 昆虫機能利用研究（調整費充当領域：昆虫機能を利用した新材料の創出に関する研究）	ライフサイエンス				←353	←360	←359	←341
9. 新情報パラダイムに基づく技術分野の研究（調整費充当領域：大域情報処理技術）	情報					←359	←360	←361
10. 光反応制御・光機能材料（調整費充当領域：光反応制御の研究）	エネルギー							
小計		1,032	1,800	2,529	3,239	3,600	2,609	1,998

3. 重点基礎研究

課題名	分野	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度
		1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992
重点基礎研究	その他	(126)	(172)	(175)	(175)	(182)	(206)	(196)	(203)
		675	1,350	1,351	1,351	1,351	1,362	1,400	1,378

4. 省際基礎研究

課題名	分野	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994
省際基礎研究	その他	(8)	(16)	(24)	(24)	(24)	(24)	(24)
		300	750	1,158	1,111	1,158	1,161	1,181

5. 重点研究支援協力員制度

(単位：百万円)

課題名	分野	7年度	8年度
		1995	1996
重点研究支援協力員制度	その他	(12)	(22)
		446	900

(単位：百万円)

12年度 2000	13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	16年度 2004	17年度 2005	18年度 2006	実施 機関
41	41	40					科 科 (厚) 厚 経 通 農 農 総 郵 科 科 (厚)
41	42	37					
40	40	40					
41	40	40	41				
39	40	40	41				
40	40	40	39	39			
40	41	40	40	38			厚 農 農 経 通 経 通
376	40	42	40	37	35		
346	40	38	38	38	40		
368	362	40	38	38	39	40	
1,372	726	396	277	190	114	40	

(単位：百万円)

5年度 1993	6年度 1994	7年度 1995	8年度 1996	9年度 1997	10年度 1998	11年度 1999	12年度 2000
(203)	(204)	(263)	(231)	(262)	(270)	(281)	(282)
1,400	1,400	2,100	2,100	2,200	2,200	2,200	2,200

(単位：百万円)

7年度 1995	8年度 1996	9年度 1997
(24)	(16)	(8)
1,181	774	387

VI 経過措置分—その他

1. 国際共同研究総合推進

課 題 名	分 野	5年度 1993	6年度 1994	7年度 1995	8年度 1996	9年度 1997	10年度 1998	11年度 1999
(1) 国際研究交流促進					(120)	(182)	(121)	(85)
① 国際研究交流育成	その他				↔ 96 (28)	↔ 136 (32)	↔ 107 (33)	↔ 82 (42)
② 国際ワークショップ	その他				↔ 283	↔ 314	↔ 315	↔ 345
小 計					(148) 379	(214) 450	(154) 421	(127) 427
(2) 国際共同研究					(120)	(135)	(162)	(126)
① 二国間型	その他				↔ 760	↔ 810	↔ 861	↔ 744
② 多国間型					274	225		
1. 地球科学技術研究のための基礎的データセット作成研究 (平成8年度より総合研究から移行)	環境	←.....→			↔ 200	↔ 225	↔ 225	↔ 212
2. アジア地域の微生物研究ネットワークに関する研究 (平成8年度より総合研究から移行)	ライフサイエンス			←.....→			↔ 30	
3. アジア・太平洋地域に適した地震・津波災害軽減技術の開発とその体系化に関する準備研究	社会基盤					↔		
4. アジア・太平洋地域に適した地震・津波災害軽減技術の開発とその体系化に関する研究	社会基盤							← 220
5. 金ナノ粒子担持酸化チタンの触媒作用の研究 (FS研究)	材料							
6. エネルギー物質の危険度評価に関する国際的総合研究 (FS研究)	エネルギー							
7. フィリピン海プレート周辺域の地震断層に関する調査研究 (FS研究)	社会基盤							
小 計					1,234 (122)	1,260 (137)	1,116 (164)	1,176 (128)
中 計					1,234	1,260	1,116	1,176

2. 重点国際交流

(単位：百万円)

課 題 名	分 野	3年度 1991	4年度 1992	5年度 1993	6年度 1994	7年度 1995
重点国際交流	その他	↔ (14)	↔ (19)	↔ (27)	↔ (27)	↔ (27)

3. 個別重要国際共同研究

課 題 名	分 野	62年度 1987	63年度 1988	元年度 1989	2年度 1990	3年度 1991	4年度 1992
個別重要国際交流	その他	← (46)	← (29)	← (41)	← (80)	← (80)	← (80)

4. 調査・分析

課 題 名	56年度 1981	57年度 1982	58年度 1983	59年度 1984	60年度 1985	61年度 1986	62年度 1987	63年度 1988	元年度 1989
① 科学技術政策立案のための調査・分析	(3) 96	(6) 210	(7) 196	(4) 143	(4) 151	(5) 166	(5) 288	(4) 408	(3) 140
② 研究調査の設定等のための調査・分析	(3) 53	(6) 97	(5) 74	(3) 43	(4) 55	(3) 39	(3) 30	(4) 39	(5) 59
小 計	(6) 150	(12) 307	(12) 270	(7) 186	(8) 206	(8) 204	(8) 318	(8) 448	(8) 199

(単位：百万円)

12年度 2000	13年度 2001	14年度 2002	15年度 2003	実施機関
(60)				
←→ 57 (32)				
←→ 300				
(92)				
357				
(46)	(15)			
←→ 898	←→ 296			
				科農通運建学民
				環大厚農通学民
				科運建学民
247	193	211	201	
←→ 41	←→	←→	←→	科国学民
←→ 10				科運建学民
←→ 52				通学民
				自
				科通学民
1,248	488	211	201	
(50)	(16)	(1)	(1)	
1,248	488	211	201	

(単位：百万円)

5年度 1993	6年度 1994	7年度 1995
		←→
(80)	(80)	(120)

(単位：百万円)

2年度 1990	3年度 1991	4年度 1992	5年度 1993	6年度 1994	7年度 1995	8年度 1996	9年度 1997	10年度 1998	11年度 1999	12年度 2000
(3)	(4)	(2)	(3)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)
136	111	139	204	186	186	185	185	203	282	178
(5)	(11)	(6)	(7)	(8)	(8)	(8)	(9)	(9)	(7)	
59	95	55	73	83	85	85	80	72	68	
(8)	(15)	(8)	(10)	(10)	(10)	(10)	(11)	(11)	(9)	(1)
195	206	194	277	270	271	270	265	275	350	178

5. 緊急研究、緊急受託研究等

課題名	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度
	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
(1) 緊急研究及び機動的国際対応	(2) 128	(1) 41	(1) 42	(1) 52	(2) 64	(2) 113	(2) 230	(2) 143	(4) 126
(2) 機動的国際対応	(1) 62	(2) 152		(1) 84	(1) 17	(2) 28	(1) 85		(1) 15
(3) 緊急受託研究							(14) 36	(17) 42	(14) 30
小計 (緊急受託研究を除く)	190	193	42	136	81	141	351	185	171

6. その他

課題名	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度
	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
(1) 総合推進等 (工業所有権取得を含む)	41	46	53	63	69	70	78	81	89
(2) 新技術開発事業団への出資金	585								
(3) 異分野交流								300	926
(4) フェロシップ									
(5) 科学技術特別研究									
(6) その他								2	
(7) 節約分	84	300	215	221	249	277	294	322	354
小計	710	346	268	284	318	347	372	705	1,368

合計	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度
	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988
各年度研究課題数 (※印の緊急措置は課題数に含まない)		20	26	28	31	158	203	262	261
各年度調査課題数		6	13	12	7	8	9	8	8
予算額合計		3,403	6,000	6,150	6,300	7,100	7,900	8,400	9,200

注1) 合計は各小計の計と一致しない。

実施機関略号：(内)内=内閣府、(総)総=総務省、(科)科=文部科学省、(厚)厚=厚生労働省、(農)農=農林水産省、(経)経=経済産業省、(国)国=国土交通省、(環)環=環境省 【()あり=各府省(所管の国立試験研究機関を含む)、()なし=各省が所管する独立行政法人】、公=公設試験研究機関、学=大学、民=民間(特殊法人)

(省庁再編前)：図=国立国会図書館、日=日本学術会議、警=警察庁、北=北海道開発庁、科=科学技術庁、環=環境庁、沖=沖縄開発庁、法=法務省、大=大蔵省、文=文部省、厚=厚生省、農=農林水産省、通=通商産業省、運=運輸省、郵=郵政省、労=労働省、建=建設省、自=自治省、地=地方公共団体、学=大学、民=民間法人(特殊法人を含む)、省庁再編時期をまたがる課題について、実施機関は1段目が再編後、2段目は再編前の機関を示す。

注3) *の予算額は、当該年度の機動的国際対応。

注4) 昭和56年度欄には、節約充分分を重複して計上。

注5) ()内は、課題数または人数

注6) II経過措置分-推進的な研究の3. 生活。社会基盤研究は、生活・地域流動研究(平成2年度~平成7年度)を発展的に拡充したもの。

注7) 平成7年度はIV経過措置分-その他の3. 個別重要国際交流に4億円、III経過措置分-国研活性化プログラムの3. 重点基礎研究に7億円、1次補正により増額。

注8) IV経過措置分-その他1. 国際共同研究総合推進の(2)国際共同研究②多国間型は、平成7年まではグローバル・リサーチ・ネットワーク(GRN)として総合研究に含まれた。

(単位：百万円)

2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
(2)	(2)	(2)	(3)	(2)	(1)	(4)	(4)	(3)	(2)	(1)	(2)	1	2
113	101	102	103	84	103	100	91	143	120	121	216	58	187
(11)	(9)	(4)	(3)	(5)			(3)	(4)					
10	16	3	5	16	0		9	7					
123	117	105	108	100	103	100	100	150	120	121	216	58	187

(単位：百万円)

2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
101	105	114	126	132	156	160	161	160	160	155	323	387	694
		95											
169													
357	525	550	998	1,163	1,388	1,613	1,813	2,025	2,265	2,265			
627	630	760	1,123	1,294	1,543	1,773	1,974	2,185	2,425	2,420	323	387	694

(単位：百万円)

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
284	361	364	374	392	402	515	573	730	729	697	608	157	215	338	298	247	231	236
8	9	15	8	13	13	10	13	11	11	9	7	0	0	0	8	10	8	10
10,100	10,200	10,500	11,000	13,300	15,500	19,600	21,500	24,950	27,000	30,200	30,105	34,310	36,500	37,700	38,600	39,500	39,800	36,800